



Local Cooperator

地域おこし協力隊活動日誌 vol.36

テントサイトを見直しました!!

飛雪の滝キャンプ場がリニューアルオープンして早くも2年が経過し、3年目に突入しました。施設の予約を確認していると、覚えのある名前がちらほら目に入ります。これまでご利用された方々で忘れられないのは、ある若いご夫妻。

実は、初めてお二人が利用していただいた際に、こちらの不手際でご迷惑をかけてしまったのです。お詫びをさせていただきたいと話したところ、「こんなにいいキャンプ場なのにお詫びをされてしまうと、次にくるときにきづらくなってしまいます」と話されて、その後も毎年利用していただいています。

そんなありがたい経験もあり、サービスを見直したり、新たなものを整えたりと、よりよいキャンプ場を目指しています。一番はお客様に喜んでほしい、快適に過ごしてほしいという気持ちを忘れず、精進を重ねていきたいと思えます。

昨年は広場を芝生化しましたが、今年はテントサイトを見直しました。最近は大き目のテントが居住性も高く人気なようで、それに合わせて区画



新設したテントサイトの区画

を大きく広げたほか、広場側にも3区画新設しました。また、テントサイトでは電源が使えるようになり、より快適にキャンプを楽しむことができるようになりました。

また1人でキャンプを楽しむ「ソロキャンプ」が人気になっていることから1人向けの区画と料金プランも設けましたので、ソロでもグループでもお好みで遊びにきてください。



シリーズ 浄化槽

きれいな川を 未来に残そう その153

毎年1回法定検査を受けましょう

Purified

法定検査は 浄化槽の健康診断

浄化槽を設置しても、きれいな処理水を保つためには、保守点検・清掃(くみ取り)・法定検査といった維持管理が欠かせません。

なかでも、毎年1回、定期的に受けていただいている法定検査(11条検査)は、浄化槽がきちんと維持管理され、正常に機能しているかを調べる浄化槽の健康診断のような大切な検査です。

法定検査は、保守点検とは目的や作業内容が異なり、浄化槽管理者(個人設置型の場合は個人、市町村設置型による町営浄化槽整備推進事業の場合、管理者は町となります。)が保守点検業者と委託契約をしても、指定検査機関による法定検査が必要です。

法定検査は、管理者の責任として定められている保守点検や清掃がきちんと実施されているか、浄化槽の機能が正常に発揮されているかどうかを調べるもので、指定検査機関の定期検査を

毎年1回受けることが、浄化槽法でも義務付けられています。

▼詳しくは、役場環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。



環境衛生課 中野良太

町営浄化槽のここがポイント!!

町管理の場合はハガキで通知

県の指定検査機関による法定検査は、町営浄化槽の場合、年間を通じて、浄化槽の維持管理スケジュールに合わせる形で行われています。

法定検査が近づいてくると、ハガキで「〇月〇日に実施します」という通知が届きます。

当日、本人が不在でも、清掃の状況などの管理情報は、町などで確認することができるので、そのまま検査を行うことができます。

Police 紀宝警察署 からのお知らせ

5月は自転車月間です

自転車の安全利用五則を守って事故防止に努めましょう!



- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号厳守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

紀宝警察署 (☎33-0110)

Resources ごみは資源 のコーナー

剪定枝や刈り草の出し方

ご自宅から出た剪定枝や刈り草は、長さ50cm、直径5cm以内にしてからヒモなどで縛るか、細かく束ねられない場合は、45Lの袋に入れて燃料ごみの日に出してください。また、多くの草木を出すときは、複数回に分けて出してください。※剪定枝や刈り草などは、自宅から出たもの以外は、出さないようにしてください。

お願い!

剪定枝や刈り草は、畑の敷材などに有効活用し、ごみの減量化・資源化に、ご協力ください。



ごみのお兄さん カサヤスカズヤス

役場環境衛生課 (☎33-0338)

Pet

シリーズ ペットと暮らす その17 ~いつまでもいっしょに~

猫の発情期の対策は?



松 尾芭蕉の俳句に「猫の恋やむとき聞の臍月」と詠われるように、「猫の恋」は春の季語とされており、多くの猫にとって、春は発情期のピークを迎えるようです。発情期の猫は、「うおお〜ん」というような、非常に大きな低い声を上げるのが特徴です。中には一晩中鳴き続ける猫もいるので、お困りの飼い主の方もいます。そのため、「異性の猫に近づけない」「またたびを与える」などの対策をされている方もいますが、なかなか大変なようです。猫にとっても、長い間発情が続くのは大きなストレスになります。ひとつの方法として、子猫を望まないのであれば、避妊・去勢手術を検討してみたいかがでしょうか。避妊・去勢手術で発情を抑えることで、猫も人間もストレスを感じずに健康に過ごすことができます。役場では、飼い猫に避妊・去勢手術を受けさせた場合、手術費用の一部の補助が受けられる制度がありますので、詳しくは、16ページをご覧ください。ただ、環境衛生課までお問い合わせください。